

第1章 はじめに

(1) 都市計画マスタープランとは

都市計画マスタープラン（都市計画に関する基本的な方針）は、長期的な視点に立ち、都市計画の基本理念を実現するため、上位計画である玉野市総合計画などを踏まえて、都市の将来像を明らかにするとともに、土地利用や道路・公園といった都市施設などの分野に応じた都市計画に関する取組の方針を示す役割を果たすものです。

●都市計画法

（都市計画の基本理念）

第二条 都市計画は、農林漁業との健全な調和を図りつつ、健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動を確保すべきこと並びにこのためには適正な制限のもとに土地の合理的な利用が図られるべきことを基本理念として定めるものとする。

（市町村の都市計画に関する基本的な方針）

第十八条の二 市町村は、議会の議決を経て定められた当該市町村の建設に関する基本構想並びに都市計画区域の整備、開発及び保全の方針に即し、当該市町村の都市計画に関する基本的な方針（以下この条において「基本方針」という。）を定めるものとする。

2 市町村は、基本方針を定めようとするときは、あらかじめ、公聴会の開催等住民の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。

3 市町村は、基本方針を定めたときは、遅滞なく、これを公表するとともに、都道府県知事に通知しなければならない。

4 市町村が定める都市計画は、基本方針に即したものでなければならない。

(2) 見直しの背景

本市は平成25（2013）年3月に前計画である都市計画マスタープランを策定し、令和4（2022）年度を目標年度として都市づくりに取り組んできました。

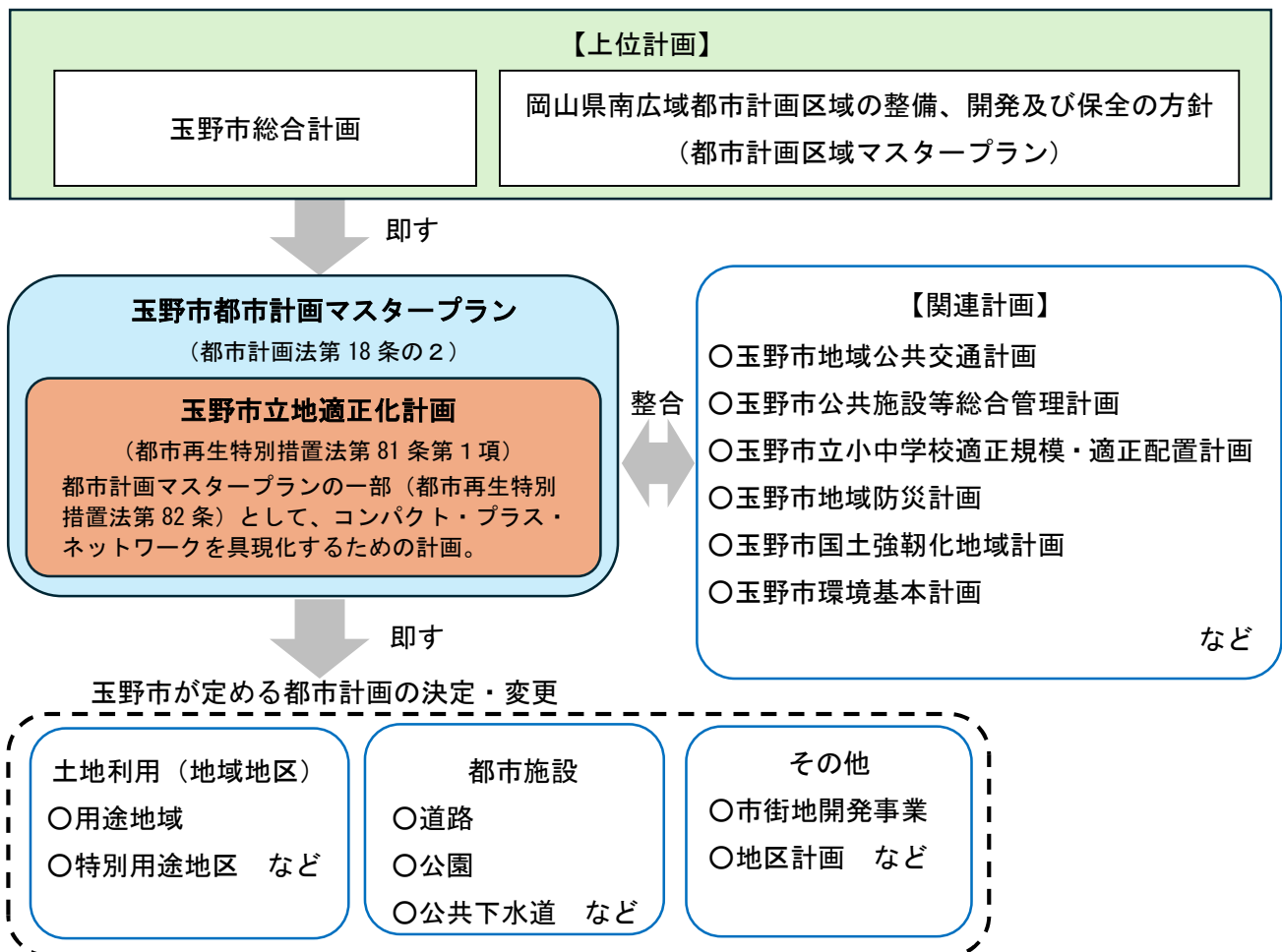
策定からすでに10年以上が経過し、人口減少や少子高齢化の進行、中心市街地の空洞化、自然災害の激甚化・頻発化、公共施設の更新等に伴う財政需要の増加など、本市を取り巻く情勢は大きく変化しています。

このような背景とともに、都市づくりに関する制度の新設・変更や上位・関連計画等の動向を踏まえ、人口減少社会においても持続的に発展できる都市づくりに向けて、都市計画マスタープランの見直しを行うこととしました。

(3) 計画の位置づけ

玉野市都市計画マスタープランは、上位計画である「玉野市総合計画」及び岡山県が策定する「岡山県南広域都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（都市計画区域マスタープラン）」に即し、本市の都市づくりに関わる各種の関連計画との整合を図りながら、本市が定める都市計画に関する基本的な方針を定めるものです。

また、人口減少下においても将来にわたり持続可能な都市経営を可能とするため、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考えのもと、都市計画マスタープランと立地適正化計画を一体的に運用することで、これまで以上に「広義の都市計画制度」による都市づくりを進めます。



(4) 対象区域

都市計画マスタープランの対象区域は、都市計画法に基づき、原則として都市計画区域とされていることから、都市計画区域を重点的に扱いますが、総合的な都市づくりの方針という観点や関連計画との整合性などを踏まえ、玉野市全域を対象区域とします。

(5) 計画期間

都市計画マスタープランは、都市計画を長期的・継続的に先導する役割を持つことから概ね20年後の都市の将来像を展望し、計画期間を令和9（2027）年度を初年度とする20年間とし、令和28（2046）年度を目標年度とします。

《将来都市像》

誰もが行ってみたい、住み続けたいまち ～たまので育つ、TAMANO が育つ～

海・港・アートといった本市が誇る地域資源を再認識した上で、子育てのしやすい環境の整備（人を育てる）や様々な学びの場の充実（学校教育・生涯学習など人が育つ）など、「人が育つ」まちづくりを進めるとともに、玉野に愛着を持つ人を増やし（愛着のある人を育てる）、まちの活性化につなげることで、みんなでまちを育てていきます。

「まちが人を育て、人がまちを育てる。」そうした好循環を生み出し、誰もが見てみたい、行ってみたい、いつまでも住み続けたいと感じられる、将来にわたって魅力的なまちであり続けることを目指します。

【まちづくりの基本方針】

- ・希望をもって安心して子育てできるまち 【結婚・出産・子育て】
- ・心豊かな人生がおくれる文化が薫るまち 【教育・文化・スポーツ】
- ・住み慣れた地域で、健康で元気に暮らせるまち 【健康・福祉】
- ・自ら備え、支え合い、助け合う、安全安心のまち 【安全・安心】
- ・来て、見て、住みたい、にぎわいあふれるまち 【産業・観光】
- 美しい自然と快適な都市機能を未来につなぐまち 【生活環境・都市基盤】
- ・みんなで創る一人ひとりの個性と能力が輝くまち 【市民参加】
- ・市民から信頼され、時代のニーズに応える持続可能なまち 【行政運営】

- ・安全で安心して暮らせる生活環境の保全

・安全で快適な生活空間の確保

- ・交通基盤の充実
- ・上・下水道施設の機能維持と効率的な運営管理
- ・ごみ処理施設と斎場・霊園の適正な運営

【目指すまちの姿】

都市機能が充実した良質な生活空間を確保します

【基本方針】

- ・市街地の拡散を抑制し、道路・公園などの都市基盤の質の維持を図るとともに、複数の拠点公共交通を軸に連携するコンパクトシティの形成により、中心市街地と各生活拠点において都市空間の維持・向上を図ることで、快適で活力ある都市空間づくりを目指します。

【参考】岡山県南広域都市計画区域マスタープランにおける将来都市構造と本市の位置づけ

構成市町	6市町（岡山市、倉敷市、玉野市、総社市、赤磐市、早島町）
基本理念	「中四国の中核拠点としてふさわしい力強い都市づくり」
都市づくりの方針	<ul style="list-style-type: none"> ■集約型都市構造の実現を目指した都市づくり ■にぎわいのある中心市街地の形成を目指した都市づくり ■安全・安心で暮らしやすい都市づくり ■カーボンニュートラルの実現を目指した都市づくり ■産業振興による活力あふれる力強い都市づくり ■個性と魅力あふれる都市づくり ■連携による相互補完とグローバルな発展を目指した都市づくり
将来都市構造	<p>図 点・軸</p> <ul style="list-style-type: none"> 高次都市拠点 地域都市拠点 都市拠点 産業拠点 国土連携軸 広域連携軸 地域連携軸 <p>凡 例</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街地 緑地（森林等含む） 山林（保全すべき区域を含む） 河川等 高規格幹線道路 国道 鉄道・駅 国際航空港湾 重要港湾 空港 丹波地城 <p>玉野市 地域都市拠点/産業拠点</p>
玉野地域の市街地像	<ul style="list-style-type: none"> ・本州と四国を結ぶ海上交通の要衝となっている玉野市は、観光資源等を生かしたまちの魅力づくりや公共交通を軸に複数の拠点が連携するコンパクトシティの形成により、快適で活力ある都市空間づくりを目指す。 ・地域の基幹産業となっている造船産業の操業環境の向上を促進するとともに、新たな産業の創出を促し、活力のあるまちづくりを推進する。 ・海等の豊かな自然と港等を活用し、多様な人々がふれあう交流拠点、瀬戸内海の玄関口としての機能充実に努める。